

テニユア審査基準（評価項目）

1. 基本方針

早稲田大学の理念、目的および社会における使命を深く自覚し、自らの教育研究および大学や学術院の運営等に対して、誠実かつ果敢に取り組む人材を求める。

2. 評価項目

(1) 研究活動

- ①当初の研究計画が十分に達成されているか
- ②今後の研究計画（テーマ）に先進性・独創性・将来性があるか
- ③競争的研究資金を獲得しているか
- ④学内外との共同研究に参画しているか
- ⑤受託研究等の学外連携の実績はあるか

(2) 成果発信

- ①国内外の学会発表、招待発表を適切に行っているか
- ②論文や著書等を適切に発表しているか（掲載誌も考慮、またソフトウェアの公開も含む）
- ③各種の表彰・受賞等の実績はあるか
- ④マスコミによる報道はあるか

(3) 教育活動

- ①講義の内容・方法は適切かつ有効であるか（学生やメンターからのヒアリング等）
- ②研究指導の内容・方法は適切かつ有効であるか（学生やメンターからのヒアリング等）
- ③担当可能な科目は十分にあるか
- ④教員としての資質や適性があるか（性格、表現力、リーダーシップ）
- ⑤教員としての明確な意識があるか（姿勢、抱負）

(4) その他

- ①箇所の会議や行事等に積極的に参画しているか
- ②委員会活動への参画実績はあるか
- ③他に特記事項はあるか（社会貢献等）
- ④テニユアトラック教員としての採用時に示された条件を達成しているか

※評価は、まず研究・教育計画および毎年度初めに提出される年次計画に対する達成度を確認する。その上で、学科・専攻ごとに定める専任教員採用基準に照らし、上記評価項目で期待値以上であったか、当該分野において新たな展開や新境地を切り開いたかなど、総合的観点で評価を行う。

以 上